

公表：2022年3月16日

事業所名：障がい児通所支援事業所きらら

職員数：9名 回収数：9枚 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見・工夫している点、改善点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		・コロナ禍で密にならないようにパーティションや机の配置など考慮しスペースを確保している。 ・回答なし1名
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2		・人員基準は満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		・廊下やトイレには手すりを設置し、段差もないので車椅子での移動も可能。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9			・新しく始まることは職員間で意見を出し、実践、改善と話し合いをしながら進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			・年間行事アンケートや評価表アンケートを実施し、保護者の方の意見をお聞きし、ご意見・ご要望の把握に努めている。 ・保護者の方の意向を職員間で周知し、改善に取り組んでいる。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1		・1年に1回ホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4		・コロナ禍で外部の方の訪問は制限している。コロナ感染症が収束した際には、検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			・研修等の案内は掲示している。 ・今年度はコロナ禍で研修の中止が相次いたが、オンラインの研修を活用している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			・6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、それぞれのお子さまに必要な支援や目標を職員間で話し合い、計画作成している。 ・いろいろな職種の方の意見も聞き、様々な視点からの課題等を分析している。 ・今後はオンラインでの相談、アセスメントも検討する。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	3		・適切な専門機関で検査を実施してもらい、その資料をもとに話し合いを行い支援に繋げている。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9			・保護者の方からの聞き取り、お子さまの様々な状況をふまえて、必要な項目を選択している。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9			・計画書の目標を確認しながら日々課題プログラムの中で支援しているが、もう少し検討・見直しは必要である。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			・コロナ感染対策に配慮しながら活動を検討している。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9			
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1		・朝礼や活動前に話しをし、職員間での共通理解はできている。 ・ミーティングファイルで申し送りをしている。
17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	3		・支援終了後すぐに振り返りの時間をとることは送迎等の関係で難しい。急ぐ場合は話し合いをしているが、振り返りや報告は翌朝に実施している。	
18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9				
関係機関や保護者との連携	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			

関係機関や保護者との連携	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9		
	22	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		・必要時に電話等でやりとりしている。
	23	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1	・必要時に電話やケース会議で相互理解を図っている。
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9		・3ヶ月に1回子ども部会に参加し、他機関からの助言や研修を受けている。
	25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	4	・月1回のフェア体験時に地域のお子さまとの交流の場や機会を設けている。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	1	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9		・帰りのお迎え時や送迎時、また電話やLINEでもお子さまの状況等は伝えている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	4	・ペアレントトレーニングも今後検討課題である。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9		・必要に応じて面談や電話相談に応じている。内容によっては適切な相談先の情報を提供している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3	・コロナ禍もあり今年度は、少人数での親子のふれあい会(研修等)を開催した。できる限り保護者の方同士の連携もニーズにより継続していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		・お便りやLINE等で予定や活動の様子、行事など保護者の方にお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	9		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		・視覚的提示・簡潔に具体的に話すなど個々の保護者に合わせ配慮している。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9		・同法人事業所の月1回フェアに社会体験学習として参加し、地域住民の方とも交流を図っている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1	・マニュアルは整備している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1	・法人全体での訓練は実施できている。 ・長期休暇時の行事の一環として防災学習に取り組んでいるが全員が参加できていない。何日か分散して訓練ができるよう検討する。
	40	事前に、服薬、予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	1	・事前に保護者の方からの聞き取りをもとにアセスメント表に記録している。医師の指示書はないが、保護者の申し出によりアレルギーについては配慮している。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	・既往歴・アレルギー一覧表を作成し職員間で把握しておく。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9		・項目ごとにまとめ、原因、改善策を記入し再発防止に努めている。
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9		

